

平成19年度第3回常務理事会（通信会議）議事録

日時：平成19年7月20日（金）～8月3日（金）

参加者：

理事長：吉村 泰典

理事：岩下 光利、岡井 崇、落合 和徳、嘉村 敏治、田中 俊誠、平松 祐司、
星 和彦、星合 昊、吉川 裕之、和氣 徳夫

監事：柏村 正道、丸尾 猛

幹事長：矢野 哲

幹事：新井 隆成、内田 聡子、北澤 正文、久具 宏司、小林 陽一、高倉 聡、
橋口 和生、濱田 洋実、阪埜 浩司、増山 寿、村上 節、由良 茂夫、
渡部 洋

総会議長：松岡幸一郎

総会副議長：足高 善彦、清水 幸子

資料

第3回常務理事会通信会議内容

協議1：第2回常務理事会議事録（案）

協議2：「改訂第3版産婦人科医のための社会保険ABC」Exerciseの誤植について（詳細）

協議3：ゴナドトロピン製剤の自己注射に関する要望書

協議4：Nomination for office bearers and committee chairmen

協議5：国際協力機構「子宮頸癌取扱い規約」に関する翻訳等許可依頼状

総務1：会員へのお知らせ「第63回日本産科婦人科学会学術集会長候補者の公募について」

総務2-1：陳情書

総務2-2：本会要望の関連記事

総務2-3：要望書

総務3：平成19年6月12日付捜査関係事項照会書

総務4：平成19年7月5日付捜査関係事項照会書

総務5：7月14日付読売新聞「産科医学生に奨学金」

総務6：厚労省「妊婦に対するHIV検査について（通知）の送付について」

総務7：日本禁煙学会からの禁煙宣言を要請する6月25日付文書

学術1：「朝日賞」候補者推薦のお願い

学術2：第1回産婦人科サマースクール

社保1：子宮頸癌に対する広汎子宮全摘除術

専門医制度1：日本専門医認定制機構「国民に開示する専門医医師像について」

倫理1：7月16日付読売新聞「根津医師 夫婦外の体外受精160組」

倫理2：6月17日付読売新聞「体外受精 子宮へ戻す卵子2個以下」

倫理3：6月18日付読売新聞「体外受精児心臓動いた」

倫理4：6月22日付読売新聞「代理出産 容認派5割越す」

倫理5：6月28日付朝日新聞「習慣流産 受精卵診断で妊娠」

広報1：JSOG-JOBNET 事業報告

広報2：ACOG Web 会員アクセス可能人数について

広報3：JSOG ホームページアクセス状況

広報4：ACOG Website 会員専用ページログイン対象人数

将来計画1：「大学病院産婦人科勤務医の待遇改善策の現況に関する緊急調査」最終集計

将来計画2：医師不足関連記事

男女共同参画1：地方部会担当公開講座一覧

AOCO2007 1：事前登録状況(国別)

AOCO2007 2：出展申込状況

吉村理事長から平成19年7月19日付各役員、議長団、幹事長、幹事宛書面にて、平成19年度第3回常務理事会を7月20日から8月3日迄を期間として、通信にて行う旨の案内状と通信会議次第(報告事項、協議事項)及び関連資料が送付された。予定通り7月20日に通信会議が開始され、理事長、常務理事の総数10名(岡村常務理事欠席)が参加した。吉村理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長及び総務・学術担当常務理事の計3名が選任された。

I. 協議事項

協議1：平成19年度第2回常務理事会議事録(案)の確認 [協議：1]

原案通り、承認した。

協議2：「改訂第3版 産婦人科医のための社会保険ABC」Exerciseの誤植について、資料にある通り訂正の上、ホームページに掲載し周知致したい。[協議：2]

久具幹事より「Exercise Q41の問題文中の『頸』という文字を『頸』に改めるようお願いする(2ヶ所)」との意見が示された。

その他の意見はなく、承認した。

協議3：生殖・内分泌委員会よりゴナドトロピン製剤の自己注射に関する要望書を厚生労働省に提出したいとの提案があった。[協議：3]

岩下理事より「①厚生労働省への要望書案を見ると、リコンビナントFSH製剤の自己注射が強調されているが、他のゴナドトロピン製剤すべてにつき、自己注射を要望するのか。②ペン型注入器につき言及しているが、これが認可されるまで自己注射は待つようにとの厚労省からいわれる可能性はないか。③製薬メーカー側は自己注射に対し安全性の面から躊躇していないか。塩野義製薬のステロイドの事例があるので、メーカーに意思を確認する必要があると考える」との意見が示された。

生殖・内分泌委員会 苛原委員長より以下の回答があった。

①すべてのゴナドトロピン製剤を対象とするのか、遺伝子組換え型のみか？

すべてのゴナドトロピン製剤を対象にする。

②カートリッジ型を考えているなら、認可が遅くならないか？

一応、すべてのゴナドトロピン製剤を対象としているので、カートリッジ型の発売とは関係がないが、今年度の生殖・内分泌委員会で、自己注射のガイドラインを作成する予定なので、その中では、カートリッジ型の導入を早期に図ることを組み込む。

③リンデロンのように会社から梯子を外されないか？

一部の会社に確認したが、そのようなことはなく、積極的に応援するとのことである。

以上の回答につき岩下理事も了承し、また他に異議はなく、承認した。

協議4：AOFOGより次期のOffice Bearers (Executive Board Member) 及び Chairpersons of Standing Committeesの候補者について、推薦依頼があった。Maternal & Perinatal Health Care CommitteeのCommittee Chairとして宮崎大学池ノ上克先生(2期目再任)を推薦したい。

[協議：4]

特に異議なく、承認した。

協議5：国際協力機構（JICA）より中南米各国に対して実施する子宮頸癌対策の研修教材として「子宮頸癌取扱い規約」を活用するため、スペイン語版の翻訳、印刷、製本、無償配布につき承認許可依頼があった。共編者である日本病理学会、日本医学放射線学会が応諾することを条件に、本件許可いたしたい。〔協議：5〕

特に異議なく、承認した。

II. 業務担当常務理事報告

1) 総務（落合和徳理事）

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向

特になし

(2) 第63回学術集会長の公募について

平成19年6月16日付で本会会員専用ホームページ上に第63回学術集会長の公募につき掲載した。併せて機関誌59巻8号に掲載予定である。公募の締切りは9月30日である。〔資料：総務1〕

(3) 7月9日（月）15:00より厚生労働省に於いて柳澤厚生労働大臣と面談し、産科医療提供体制の危機的状況を打開するための緊急対策に関する陳情書を手交した。〔資料：総務2-1, 2-2〕

厚労省側：柳澤大臣

本会側：吉村理事長、落合常務理事、海野委員長、澤幹事、阪埜幹事

また、本面談を踏まえて、各病院長宛に「すべての分娩において、担当した医師に対して適正な分娩手当を支給すること」を要望する文書を送付したい。〔資料：総務2-3〕

(4) 平岩弁護士より「東京高裁から大谷裁判に係る原告からの控訴を受け控訴審を開始する旨の連絡があった。近日中に本会宛控訴審開始の書面が届くと思われる」との連絡があった。本件につき、引き続き平岩弁護士に本会等被告の代理人を依頼したい。

(5) 福岡県警より福岡市内の産婦人科病院において発生した分娩手術中の医療過誤事件の捜査に関連し、「産婦人科研修の必修知識2007」を購入したいとの依頼があった。通信による関係役員との協議の結果、販売を応諾した。〔資料：総務3〕

(6) 福岡県警より刑事訴訟法第197条第2項により会員2名に係る専門医資格等の登録照会があった。会員2名は前項の事件と関係するものと思われるが、登録照会につき回答した。〔資料：総務4〕

(7) 西日本高速道路会社は産婦人科医を志す医学生に対する奨学金制度を創設する方向で、基金を8月に立ち上げるべく準備中である。本基金決定次第本会から15名を推薦する。併せて第1回産婦人科サマースクールに運営費として同社から1百万円を支援することも決定された。近日中に本会理事長宛正式に書面が届くとの予定である。〔資料：総務5〕

〔II. 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

①健康局疾病対策課より各都道府県等衛生主管部（局）長宛に「妊婦に対するHIV検査について（通

知)」を送付したとの連絡があった。[資料：総務6]

〔Ⅲ. 関連団体〕

(1) 日本禁煙学会

①日本禁煙学会より本会総会会場の禁煙と、本会の禁煙宣言を督促する書状を受領した(6月27日)。
なお、本会では第2回理事会で提示した禁煙宣言(案)につき運営委員会各委員に通信で意見伺い
をしている(期限：7月31日)。 [資料：総務7]

(2) 日本小児科学会

①日本小児科学会との第3回合同意見交換・調整会議を9月12日に開催する予定である。

〔Ⅳ. その他〕

(1) 日本マタニティビクス協会より「マタニティ&ベビーフェスタ2008」(開催日：平成20年4月
12日～13日、会場：パシフィコ横浜)の後援名義使用許可についての依頼書を受領した(6月25日
付)。

経済的負担がなく、後援を応諾したい。

(2) 第11回世界内視鏡外科学会・第21回日本内視鏡外科学会総会より「第11回世界内視鏡外科学
会・第21回日本内視鏡外科学会総会」(開催日：平成20年9月1日～6日、会場：パシフィコ横浜)
の後援名義使用許可についての依頼書を受領した(7月13日)。

経済的負担がなく、後援を応諾したい。

以上総務報告事項については、特に異議なく了承した。

2) 会 計 (岡村州博理事)

特になし

3) 学 術 (吉川裕之理事)

(1) 「朝日賞」候補者推薦について、各理事、学術委員会各委員に依頼した。(推薦期限：8月31日)
[資料：学術1]

(2) 第1回産婦人科サマースクールは8月4～5日に長野県美ヶ原温泉で開催される。参加者は90
名を越える応募があった。本会からの支援金1百万円につき7月13日に振り込みの手続きを完了した。
[資料：学術2]

以上学術報告事項については、特に異議なく了承した。

4) 編 集 (岡井 崇理事)

(1) 会議開催

①7月20日にJOGR全体編集会議を開催した。

②6月15日開催の第1回編集担当理事会において、下記事項について協議・報告した。

○日本語機関誌の特集について、読みやすくするための体裁見直しについて具体的な検討を行う。

○英文機関誌(JOGR)について、再見積りの結果Blackwell社に決定したことの経緯を報告した。

○研修コーナーについて、ミシン目とパンチ穴については、ファイルをしている会員の要望・実情
と経費を調査する。

○和文誌の過去の論文について、オンラインで検索したいとの複数の会員からの希望があったとの

報告があり、国立情報学研究所に過去論文のPDFの作成を依頼し、今後学会HPでの検索機能について、経費面などに関して調査することとなった。

○JOGRの月刊化について論議があり、11月JOGR全体会議の際、Impact Factor増加の方策を含めて、Blackwell社を交えて検討を行うこととした。

(2) 英文機関誌(JOGR)投稿状況:2007年投稿分(6月末現在)

投稿数331編(うちAccept 29編、Reject 124編、Withdrawn 17編、Under Revision 52編、Under Review 93編、Pending 16編)

以上編集報告事項については、特に異議なく了承した。

5) 渉外(嘉村敏治理事)

[FIGO関係]

(1) 平成19年10月21、22日、ロンドンにて開催されるFIGO Executive Board Meetingに、本会より岡村渉外担当理事が出席の予定である。

[AFOG関係]

(1) 平成19年9月22日、24日、東京にて開催されるAFOG General Assemblyに、本会より吉村理事長、嘉村渉外担当常務理事が出席の予定である。

(2) 平成19年9月25日、東京にて開催されるAFOG New Council Meetingに、本会より嘉村渉外担当常務理事が出席の予定である。

以上渉外報告事項については、特に異議なく了承した。

6) 社保(和氣徳夫理事)

(1) 会議開催

①第1回外保連加盟学会小委員会を7月5日に開催した。

②第1回内保連加盟学会小委員会を7月20日に開催する。

③第3回社保委員会を9月14日に開催する予定である。

(2) 東京大学大江和彦教授を主任とする厚労科研「外科手術のアウトカム要因の分析と評価方法に関する研究」に関して、本会は婦人科腫瘍登録機関の情報提供を行うなど協力したが、このたび同研究班において「子宮頸癌に対する広汎子宮全摘除術」の解析結果が纏められた。7月25日開催の中医協「手術に係る施設基準等調査分科会」にサマリー版[資料:社保1]を提出してよろしいかとの伺いがあり、応諾した。[資料:社保1]

以上社保報告事項については、特に異議なく了承した。

7) 専門医制度(星和彦理事)

(1) 平成19年度専門医認定二次審査

東京会場(都市センター)と大阪会場(千里ライフサイエンスセンター)で、7月28日に筆記試験、29日に面接試験を実施する。

(2) 地方委員会専門医認定一次審査通知書を送付した(7月2日)。

また、一次審査合格者に対し審査通知と二次審査受験票を、再申請者に対し二次審査受験票を送付した(7月2日)。

(3) 8月上旬に平成19年度研修手帳注文書を卒後研修指導責任医宛に送付する。

(4) 平成19年度認定二次審査筆記試験問題評価委員会

8月31日に認定二次審査筆記試験問題評価委員会を開催する予定である。

(5) 日本専門医認定制機構より専門医医師像の検討依頼について [資料：専門医制度1]

6月26日付で日本専門医認定制機構より「国民に開示する専門医医師像」についての検討依頼があり、委員長、副委員長、小委員長が通信で検討、作成し7月5日に回答した。

以上専門医制度報告事項については、特に異議なく了承した。

8) 倫理委員会 (星合 昊委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録(平成19年6月30日)

①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：65 研究

②体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録：595 施設

③ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録：580 施設

④顕微授精の臨床実施に関する登録：446 施設

⑤非配偶者間人工授精の臨床実施に関する登録：16 施設

(2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について

申請件数：43 例[承認31 例、非承認3 例、審査対象外1 例、審査中8 例]

審査小委員会より承認答申書を受領した(慶應義塾大学よりの再申請1 例、セントマザーよりの新規申請3 例)。

(3) JISART からの「卵子提供体外受精実施の申請書」を受領したので(6月15日)、倫理委員会委員に同申請書を送付し、通信により意見を聴取した(7月10日締切)。委員からの意見をもとに検討する。

(4) 会議開催

①第2回登録・調査小委員会を6月27日、第3回同委員会を7月17日に開催した。

(5) 読売新聞7月16日付記事「根津医師 夫婦外の体外受精160組」 [資料：倫理1]

田中理事より「倫理1の記事について、非配偶者間体外受精に関してはさておき、根津医師の言動に対して手を拱いていて良いのか」との意見が示された。

足高副議長より「学会として強く対応して頂きたいと思う」との意見が示された。

星合理事より「現在、通信倫理委員会でご意見をいただいている。次回の常務理事会前に倫理委員会を開催して、委員会としての対応を常務理事会に答申するつもりである」との回答があった。

(6) 読売新聞6月17日付記事「体外受精 子宮へ戻す卵子2個以下」 [資料：倫理2]

(7) 読売新聞6月18日付記事「体外受精児心臓動いた」 [資料：倫理3]

(8) 読売新聞 6 月 22 日付記事「代理出産 容認派 5 割越す」 [資料：倫理 4]

(9) 朝日新聞 6 月 28 日付記事「習慣流産 受精卵診断で妊娠」 [資料：倫理 5]

以上倫理委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

9) 教育 (岩下光利理事)

(1) 産婦人科医育成奨学基金制度による海外研修派遣について

10 月開催 The Annual Meeting of Korean Society of Obstetrics and Gynecology への海外研修派遣募集 (派遣予定:5 名) を行い、締切の 7 月 5 日までに 14 名の申請があった。海外医師派遣選考委員会委員 15 名に対し通信による審査を依頼した (7 月 20 日締切)。

(2) 「産婦人科研修の必修知識 2007」頒布状況について

7 月 10 日現在、入金済 2,548 冊、校費支払のため後払希望 36 冊、購入依頼 43 冊。

以上教育報告事項については、特に異議なく了承した。

III. 理事会内委員会報告

1) 広報委員会 (平松祐司委員長)

(1) JOB-NET 公募情報について [資料：広報 1]

(2) ACOG Web 会員について [資料：広報 2]

(3) ホームページアクセス状況 [資料：広報 3]

(4) 7 月～9 月の 3 ヶ月間、本会ホームページ会員専用ページに日本ベクトン・ディッキンソン(株)のバナー広告を掲載する。

(5) ACOG Website 会員専用ページのログイン契約更新にあたり、8,000 名分の会費 (8,000 名×US\$1. =US\$8,000. =¥984,000) を ACOG へ近日中に支払う予定である。 [資料：広報 4]

以上広報委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

2) 将来計画委員会 (井上正樹委員長)

(1) 会議開催

①第 1 回産婦人科医療提供体制検討委員会を 7 月 20 日に開催する予定である。

②第 2 回産婦人科診療ガイドライン評価委員会を 7 月 21 日に開催する予定である。

③9 月 1 日：第 2 回「産婦人科診療ガイドラインー産科編」コンセンサスミーティング
会場「弘済会館、東京」11:00～18:00

9 月 23 日：第 3 回「産婦人科診療ガイドラインー産科編」コンセンサスミーティング
会場「新宿京王プラザホテル」13:30～18:30

10 月 14 日：第 4 回「産婦人科診療ガイドラインー産科編」コンセンサスミーティング
会場「群馬県民会館」13:00～16:00

を開催する。

(2) 「大学病院産婦人科勤務医の待遇改善等の現況に関する緊急調査」の取り纏め結果を各大学教授

宛に報告した。[資料：将来計画1]

(3) 医師不足関連記事 [資料：将来計画2]

以上将来計画委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

3) 男女共同参画検討委員会（田中俊誠委員長）

(1) 会議開催

①第2回女性医師の継続的就労支援委員会を7月27日に開催する予定である。

(2) 地方部会担当公開講座について [資料：男女共同参画1]

以上男女共同参画検討委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

4) AOCOG2007 組織委員会（武谷雄二委員長）

(1) 事前登録について [資料：AOCOG2007 1]

(2) 出展申込状況について [資料：AOCOG2007 2]

以上AOCOG2007 組織委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

以上